

# [「こうちこどもファンド」(高知県高知市) ]

## 課題（状況）



## 政策（補助金等）/規制

- ・市民による地域づくりを推進する「高知市市民と行政のパートナーシップのまちづくり条例」を制定、10年の成果を振り返り、将来のまちづくりを担う「こどもによるまちづくり」の提言を受け、ミュンヘン市の取り組みを参考に「こうちこどもファンド」を創設、こどもたちのまちづくり活動への支援することとした。

## 目標



活動を実施するなかで周囲の大人が巻き込まれ地域活動の活性化が図られる。こどもの「学び」と「成長」の場となる。

- ・将来のまちづくりを支える「人財」の育成
- ・こどもを中心とした地域内多世代交流によるまちづくりの活性化
- ・子どもたちにやさしい高知市の実現

## 地域資源/産学連携等



- ・卯月盛夫 早稲田大学社会科学総合学術院教授（こうちこどもファンド審査委員長）
- ・子どもたちが運営するまち「とさっこタウン」の実施（平成21年度より）

## 具体的な取組内容

### ①取組内容・スケジュール

子どもの目線によるまちづくり活動の提案を評価、予算を措置し、活動を助成、地域の多世代交流に繋げている。  
平成23年度 検討会設置、こどもファンド提言  
平成24年度 事業開始

事業募集(1-5月)→公開審査会(6月)→団体活動(7-2月)→活動発表会(3月)

### ②予算など

平成24-27年度 5,829千円（33団体）  
企業・個人の寄付 8,586千円で賄われる

### ③推進・運用組織

平成26年度「子ども未来部」を市に設置、子どもに関連する事業を実施する専門部により支援

## 成功要因

- ・子ども・子育て支援事業を重点事業として位置づけ、子どもによるまちづくり事業「とさっこタウン」を実施してきた経験
- ・こども審査員による助成の可否判断等子どもを中心とした運営とそのための事前学習の付与

## 成果

- ・こどもの多様なアイディアを活かした取り組みとこれによる子どもたち自身の活性化と成長
- ・子どもと地域住民の交流を契機とした地域の活性化
- ・企業の寄付等地域社会の支援と理解

## 地域の変化

- ・住民の地域社会の支援と理解の進展（企業・個人の寄付の増加など）
- ・子どもたちの多様なアイディア・活動が大人の活動につながる等の連携が生まれている

## 残る課題

- ・こどもたちの活動に対する支援体制の充実（地域住民、企業、行政等すべての社会資源を活用できる体制整備）
- ・地域のサポーターや支援者の増大

## 次の行動

- ・過去に経験したこども審査員を集め、審査におけるアドバイスなど新しいこども審査員に引き継ぎ、交流を図る「こども審査員交流会」の開催による子ども同士の学びの場や交流の推進